

教員氏名	太田 寿江	職位	教授
最終学歴	名古屋市立女子短期大学 被服科 研究課程修了		
学位	短期大学士		
役職	教学部長	所属学会 (所属協会)	日本家政学会、日本風俗史学会、日本人間工学会、日本繊維製品消費科学会 等
担当科目	「ファッション文化論」「ファッションアートⅠ」「ファッションアートⅡ」 「創造性の開発」		
研究分野	服飾文化、衣生活、生活造形、民俗学		
現在の研究テーマ	現代ファッションとその原点および社会背景との関わり		
教育方法の実践	1. 「山田学園高校生とのジョイントファッションショー (JFS)」短大部門の作品制作指導		
作成した教科書・教材	1. (共著)『被服構成 Clothing Construction』名古屋女子文化短期大学被服構成研究室 (1996.3.31、改訂:1998.3.31、2001.4.1、2005.4.1)		
教育研究業績	1. (共著)「高校生とのジョイントファッションショーにおける短大作品のコンセプトと造形技法(3)－2006年～2009年－」『名古屋文化短期大学研究紀要第36集』(2011) 2. (共著)「高校生とのジョイントファッションショーにおける短大作品のコンセプトと造形技法(4)－NFCC60周年記念2010・サマーコレクション－」『名古屋文化短期大学研究紀要第36集』(2011) 3. (学会発表)「エスニックファッションの変化について」日本風俗史学会中部支部6月例会 (2010) 4. (学会発表)「ジャポニスムファッションの変化について」日本風俗史学会中部支部6月例会 (2011) 5. (ポスター発表)「伝統工芸「絞り」を取り入れた創造的ファッションデザイン教育」日本家政学会被服構成学部会夏期セミナー (2011)		
社会的活動	1. 愛知県高等学校家庭科研究会夏期研修会の取りまとめ役 (2009.8.3、2010.7.30) 2. 日本家政学会被服構成学部会夏期セミナー実行委員 (2011. 8.30・31) 3. 学会役員: 日本風俗史学会理事・中部支部役員、日本人間工学会東海支部役員、日本繊維製品消費科学会中部支部役員 4. 学会大会の運営委員: 日本風俗史学会第55回大会 (椋山女学園大学、2014.11) 日本人間工学会第57回大会 (三重看護大学、2016.6)		
学内の活動	1. 短期大学基準協会 平成26年度第三者評価のALOを務める。(2014.9)		